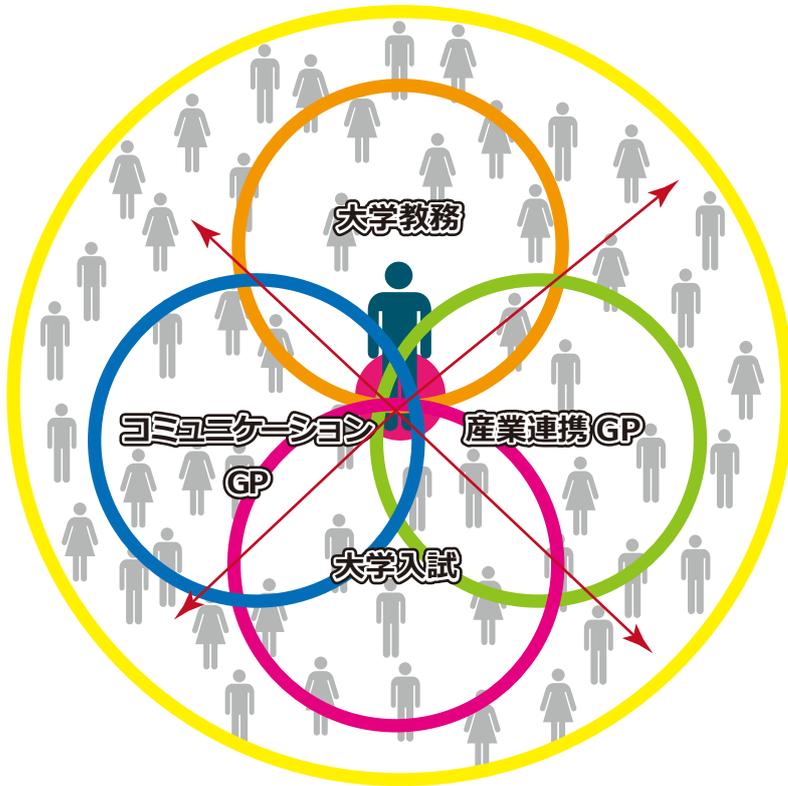


支援から教育改革・入試改革へ

聴覚障害学生支援プロジェクト室からはじまるソーシャルアクション



1. 大学教務

手話による教養大学、授業科目としての「情報保障」、各科目の中のアクティブラーニング

2. 大学入試

面接試験に手話通訳・PCテイクの用意、編入試験の論文を日本手話で出題、一般入試に科目としての「日本手話」を導入

3. コミュニケーションGP

コミュニケーションのバリアフリーを目指して学生が手話やパソコンの腕を上げ、教員の研究とも連携する。検定試験、e-portfolioの活用

4. 産業連携GP

学外の組織・機関・会社との連携、自治体等のボランティアセンター等とタイアップ、近隣のボランティア養成

2013 TOPIX

1. 教育のための支援から支援のための教育へ

情報保障の単位化: 講義、アクティブラーニング



2. 合理的配慮から最高の配慮へ (手話を入試科目に)

聴覚障害者の大学進学率向上に本気で取り組む。高校の塾→聴覚障害者のためのオープンキャンパス→聴覚障害者のための入試→授業の情報保障・手話による講義→就労支援(国家試験対策講座)

